

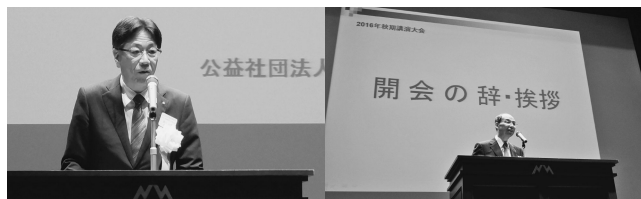
2016年秋期（第159回）講演大会記録

2016年秋期講演大会は、9月21日から23日の期間、大阪大学豊中キャンパスにおいて開催した。

9月21日（9:00～9:40）開会の辞、各賞贈呈式（大阪大学会館）
（10:00～17:15）一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション（全学教育講義 A 棟、B 棟 17会場）
（12:30～17:00）ポスターセッション（大学会館）
（18:30～20:30）懇親会（ホテル阪急エキスポパーク）
9月22日（9:00～17:20）一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション（全学教育講義 A 棟、B 棟 19会場）
9月23日（9:00～16:20）一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション（全学教育講義 A 棟、B 棟 18会場）
9月21日～9月23日 総合受付（全学教育講義 A 棟 1 階）
付設機器・カタログ展示会（全学教育講義 B 棟 1 階、2 階）
World Materials Day Award 展示（全学教育講義 A 棟 2 階）

開会の辞（9月21日）

始めに、掛下知行講演大会実行委員長より挨拶があり、続いて白井泰治会長より開会の挨拶があった。



掛下実行委員長の挨拶。

白井会長の挨拶。

贈呈式（9月21日）

白井泰治会長の式辞に続き、下記の贈呈式を行った。

第14回学術貢献賞贈呈式 10名に対し賞状贈呈。（受賞者；本誌501頁）

第39回技術開発賞贈呈式 8件36名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。（受賞者；本誌503頁）

第14回功労賞贈呈式 3名（学術部門2名、技術部門1名）に対し賞状贈呈。（受賞者；本誌505頁）

第26回奨励賞贈呈式 9名（物性部門1名、組織部門1名、力学特性部門1名、材料化学部門2名、材料プロセッシング部門2名、工業材料部門1名、工業技術部門1名）に対し賞状ならびに賞牌贈呈。（受賞者；本誌506頁）

第6回まてりあ論文賞 2編5名、第6回まてりあ啓発・教育賞1編1名に対し賞状贈呈。（受賞者；本誌508頁）

第13回村上記念賞贈呈式 1名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。（受賞者；本誌509頁）

第13回村上奨励賞贈呈式 4名に対し賞状ならびに賞金贈呈。（受賞者；本誌509頁）

第64回論文賞贈呈式 5編31名（組織部門1編、力学特性1編、材料化学部門1編、材料プロセッシング部門1編、工業材料部門1

編）に対し賞状ならびに賞牌贈呈。（受賞者；本誌510頁）

第25回若手講演論文賞贈呈式 3編3名に対し賞状贈呈。（受賞者；本誌513頁）



受賞者の集合写真（皆様ご受賞おめでとうございます）。

日本金属学会・日本鉄鋼協会合同懇親会（9月21日）

日時：9月21日（水）18時30分～20時30分

場所：ホテル阪急エキスポパーク（吹田市千里万博公園 1-5）

参加者：173名（本会への申込者・招待者118名）

司会・大会副実行委員長 大阪大学教授 藤本慎司
開会の辞・大会実行委員長挨拶 大阪大学教授 掛下知行
来賓挨拶 大阪大学総長 西尾章治郎
大阪大学工学部長・工学研究科長 田中敏宏
日本金属学会会長挨拶 京都大学名誉教授 白井泰治
日本鉄鋼協会会長挨拶・乾杯

JFE スチール 顧問 丹村洋一

大阪大学教授 竹内栄一

閉会の辞



西尾総長によるご挨拶。

田中工学部長によるご挨拶。

大会参加者

1,470名（一般721名 学生569名 非会員80名（一般52名 学生28名）、相互聴講100名）

学術講演会（9月21日～23日）

最終講演件数 926件

公募シンポジウム講演 6 テーマ163題（功労賞受賞講演 1 題、基調講演34題含む）

一般講演481題（奨励賞受賞講演 9 題、技術開発賞受賞講演 8 題、功労賞受賞講演 2 題、学術貢献賞受賞講演10題、村上記念賞受賞講演 1 題、村上奨励賞受賞講演 4 題含む）

共同セッション61題

ポスターセッション221題

講演会場 19会場

第27回ポスターセッション（9月21日）

9月21日12:30～17:00の時間に大学会館アセンブリー・ホールで221件のポスター発表が行われ、そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている204件の内容・発表について審査が行われた。過去最多のポスター発表件数であった。

発表は二部構成で行い、多くの聴講者が来場し、ポスターセッション会場は大変盛況であった。

翌22日「優秀ポスター賞」47名が決定し、受賞者を本会ホームページに掲載した。（受賞者；本誌514頁）



熱気あふれるポスター発表。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」29題(金属20題, 鉄鋼9題)は9月22日, 23日に鉄鋼協会第15会場で開催した。
「超微細粒組織制御の基礎」17題(金属14題, 鉄鋼3題)は9月22日に金属学会C会場で開催した。
「マルテンサイト・ベイナイト変態の材料科学と応用」49題(金属27題, 鉄鋼22題)は9月21日～23日に金属学会N会場で開催した。

付設機器・カタログ等展示会(第40回)

機器展示21社, カタログ展示2社から出展の協力を得た。各社のご厚意に感謝いたします。



第2回企業ランチョンセミナー(9月22日)

春期講演大会に引き続き, 昼休み時間帯に昼食(軽食)をとりながら, 講演大会参加者に最新の技術情報を聴講いただく, ランチョンセミナーを開催した。

以下の5社が各5会場で30分程度のセミナーを行い, 参加者数は5社で合計220名であった。

参加者および参加企業共に好評であった。

(参加企業)

オックスフォード・インストゥルメンツ㈱

日本エフイー・アイ㈱

日本電子㈱

㈱日立ハイテクノロジーズ

㈱TSL ソリューションズ



～ご参加ありがとうございました。～

託児室

9月22日(木)に子供1名, 23日(金)子供2名に対してシッター2名体制のもと支障なく終了した。

第14回 World Materials Day Award

材料系国際学協会連携組織である IOMMMS(International Organization of Materials, Metals and Minerals Societies)では, World Materials Day を制定し, 毎年第1水曜日に世界同時に, 「材料に関する知識とその重要性を社会や若者に啓発する活動」に貢献があった学生を顕彰している。日本金属学会では, 次の方に World Materials Day Award を授賞することとした。11月2日(水)に各機関で授賞する。

第14回日本金属学会 World Materials Day Award 受賞者

(本誌: 517頁)

Winner(優秀賞)第3部門 1件

「おしろいをメークする—化粧品材料史の体験—」

仙台高等専門学校

佐藤香里君, 高橋あい君, 中嶋詩織君

第2部門賞(3件)

「形状記憶合金って知ってますか?」

愛知教育大学

仁井貴文君, 近藤侑弥君, 夏目諒君, 松田健吾君

「金属3Dプリンタによる自分嗜好のオンリーワン・カスタム照明」

大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻修士課程
大学院生グループ

堀 敬雄君, LIU TIANQI 君, 鈴木将裕君, 久本健太君

「チタンメタルアートの世界」

鈴鹿工業高等専門学校

中野真紘君, 河俣美佑君, 藤村 南君, 白敷祐哉君

辻村杏奈君, 島田健太郎君, 屋馬功太郎君, 森寺晃平君

第3部門賞(1件)

「鉱山から読み解く街の歴史—世界へ羽ばたく日立—」

茨城大学鑄造倶楽部

[大会雑記]

大阪大学での講演大会は2002年(平成14年)以来14年ぶりの開催で, 豊中キャンパスでの開催は初めてであった。また, 大学院工学研究科に共催して頂き, 財政面および運営面で多大なご協力を頂いた。

大会前日に台風が通過し大雨に見舞われたが, 大会初日からは大きな影響を受けることなく講演大会が開催された。会期中は秋雨前線の中, 曇りや小雨が降り, すっきりとしない空模様であったが, 来場者は前年を上回った。

講演は全学教育講義A棟, B棟の19会場を使用した。会場が集約されていたため, 会場移動はスムーズであった。共同開催した鉄鋼協会とも受付・講演会場の建物(全学教育講義C棟)が隣接していたため両会で講演・聴講される参加者には移動がスムーズであった。

食堂やコンビニエンスストアも祝日も営業して頂いたおかげで, 昼食の混乱などもなく終了することができた。

大阪大学での金属学会講演大会開催に当たって, 掛下実行委員長, 藤本慎司副実行委員長および土谷博昭実行幹事をはじめとする実行委員・幹事の皆様には準備当初より長期にわたり, 大変なご努力とご配慮を頂き, そのご尽力により大会を盛会裡に運営することができました。お忙しい中を本会のために長期間を割き, 諸般について万端のご協力を頂いた実行委員の方々をはじめアルバイト学生の皆様, 大学関係者各位に対しまして, 衷心より厚くお礼申し上げます。



次回春の講演大会は、首都大学東京南大沢キャンパスです。